

公益社団法人 日本水産学会
令和 5 年度第 2 回理事会議事録

1 開催された日時 令和 5 年 4 月 22 日（土）13 時 00 分～15 時 30 分

2 開催された場所 日本水産学会事務局（東京都港区港南 4-5-7）

3 理事総数及び定足数

総数 17 名、定足数 9 名

4 出席理事総数 16 名

（Web 会議システムによる出席）

東海 正、山下 洋、中田 薫、潮 秀樹、廣野育生、佐野元彦、
落合芳博、小島隆人、河村知彦、大嶋雄治、栗田 豊、八木信行、
奥村卓二、澤田好史（その他確認事項（1）中の 14 時 58 分から 15 時
13 分まで退席）、有瀧真人、吉田照豊

5 出席監事

（Web 会議システムによる出席）

佐藤秀一、良永知義、野澤知世

6 出席幹事

（Web 会議システムによる出席）

横田賢史、團 重樹、神尾道也、小糸智子（第 3 号議案審議中の 13 時 19 分に
着席）、壁谷尚樹、加藤豪司

7 オブザーバー

（Web 会議システムによる出席）

古川史也、マーシー・ワイルダー、蒲原 聡、二羽恭介、高橋希元、森田哲朗

8 議 案

決議事項

第 1 号議案「企画広報委員会委員の交代」の件

第 2 号議案「水産技術誌監修委員会委員の交代」の件

第 3 号議案「理事会主催シンポジウムの開催について」の件

第 4 号議案「日本学術会議の勧告と声明を支持する表明」の件

第 5 号議案「後援」の件

第 6 号議案「入会承認」の件

報告事項

① 令和 4 年度第 1 回理事会以降の職務執行状況

② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

東海会長が定足数の充足及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムによ
り、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するの
と同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、東海会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「企画広報委員会委員の交代」の件

廣野総務担当理事から、原案についての説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下のとおり可決した。

[辞任] 奥村卓二 [選出] 古板博文

第 2 号議案 「水産技術誌監修委員会委員の交代」の件

廣野総務担当理事から、原案についての説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下のとおり可決した。

[辞任] 大和義久 [選出] 小嶋一隆

第 3 号議案 「理事会主催シンポジウムの開催について」の件

山下理事から、原案についての説明があった。本件について以下の質疑応答があった。

奥村理事「スマート水産業についても取り上げるのか。」

中田理事「セッション 3 の関連する話題の中で取り上げる。」

八木理事「セッション 4 も関連する話題の中で取り上げる。」

佐野理事「開催にかかる旅費の負担についても検討してほしい。」

山下理事「旅費以外にも謝金や会場費などは学会の負担になる。共催団体にも負担をお願いする。」

良永監事「いままで理事会主催シンポジウムは春季または秋季大会期間中に開催していた。今回のシンポジウムをあえて 7 月開催としたのはなぜか。」

東海会長「秋季大会の 9 月だと大型予算の申請に間に合わないかもしれない。シンポジウムで取り上げる内容について、予算申請にも盛り込むことができるようにできるだけ早い時期に開催したい。」

審議の結果、理事会主催シンポジウムの開催について出席理事全員一致で原案のとおり可決した。また、費用負担についても出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 4 号議案 「日本学術会議の勧告と声明を支持する表明」の件

東海会長から、表明文の原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 5 号議案 「後援」の件

廣野総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、以下の後援を出席理事全員一致で可決した。

① 真珠研究シンポジウム 2023－真珠研究の今を伝える part 2

主 催 真珠研究シンポジウム実行委員会

後 援 水産庁 他 13 団体

日 程 令和 5 年 11 月 24 日・25 日

場 所 ミキモト真珠島真珠博物館ミュージアムホール（三重県鳥羽市）

希 望 後援

負担金 なし

第 6 号議案「入会承認」の件

廣野総務担当理事から、入会承認について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

（報告事項）

① 令和 4 年度第 1 回理事会以降の職務執行状況

・会長

東海会長から、4 月 5 日に日本農学大会で日本農学賞・読売農学賞授与式があり、マーシー・ワイルダー会員が受賞講演を行ったとの報告があった。

・庶務関係

廣野担当理事から、以下の報告があった。

1) 協賛及び後援について

共催、協賛、後援の取り扱い申し合わせ 3) を適用した。

① 第 23 回マリンバイオテクノロジー学会大会

主 催 マリンバイオテクノロジー学会

協 賛 化学工学会 他 24 学協会

日 程 令和 5 年 5 月 27 日・28 日

場 所 金沢市文化ホール（石川県金沢市）

希 望 協賛

負担金 なし

② 第 37 回日本キッチン・キトサン学会大会

主 催 日本キッチン・キトサン学会

協 賛 キトサン工業会 他 13 学協会

日 程 令和 5 年 9 月 5 日・6 日

場 所 とりぎん文化会館（鳥取県鳥取市）

希 望 協賛

負担金 なし

③ 第 42 回「海とさかな」自由研究・作品コンクール

主 催 朝日新聞社、朝日学生新聞社

後 援 文部科学省 他 4 団体

希 望 後援

負担金 なし

・企画広報関係

潮担当理事から、随時日本水産学会誌の掲載状況について検討を進めているとの報告があった。

・財務関係

佐野担当理事 特になし。

- ・編集関係

落合当理事から、3月29日に第1回委員会をハイブリッドで開催し、**Fisheries Science** の投稿数が他の雑誌同様に減少傾向であること、プレプリント論文の取り扱いについて日本水産学会誌と **Fisheries Science** とともに規程に載せることを承認したこと、**Data available statement** を記載することになるがこの詳細は審議中であること、**Interest of conflict** については義務づけることにして **Instructions to authors** に記載することになった旨、報告された。

- ・学会賞関係

大嶋担当理事から、学会賞推薦書における略歴書について連名の場合の代表者1名の記載を欄外で求めるように修正したこと及び性別の項目を削除したことの報告、並びに次回第2回委員会を9月5日に開くことの報告があった。

- ・シンポジウム関係

河村担当理事から、委員会を4月17日にオンラインで開催し、秋季大会のシンポジウムの企画（野生の水産生物における集団ゲノミクスのミニシンポジウム、東北地方太平洋ヤリイカ研究：近年の研究成果と安定的利用に向けた課題）について議論が行われたことが報告された。

- ・出版関係

山下担当理事 特になし。

- ・水産技術誌監修関係

有瀧担当理事 特になし。

- ・国際交流関係

佐野担当理事に代わり、国際交流委員会委員長である廣野理事から **SDGs** セッションを春季大会期間中に開催し盛況であったこと、アジア水産学会評議員会が今年からまた対面で開催されるので、6月末に廣野理事がインドネシアのボゴールでの会議に出席すること、イギリスの水産学会には国際交流委員会幹事の壁谷会員が学会を代表して参加することが報告された。

また、東海会長から世界水産学協議会に新たにマレーシアの水産学会が加入したことが報告された。

本件について以下の質疑応答があった。

東海会長「日本水産学会が世界水産学会議を担当する場合いつ頃になるか。」

佐藤監事「次回の世界水産学会議は来年の3月にシアトルで開催される。その次は現在募集中である。日本が担当するならば日本水産学会の100周年のタイミングが良いと思うので、次々回くらいになるのではないか。」

- ・水産教育関係

中田担当理事から、3月28日に第1回委員会が開催されたこと、**JABEE** 審査をやめている機関が増えていること、審議事項としてミニシンポジウムを来年の春季大会に向けて計画していることが報告された。

- ・水産政策関係

八木担当理事から、4月上旬にメール審議を行い、昨年の秋季のシンポジウムを **e-水産学** シリーズとして出版するための原稿の進捗状況を確認したことが報告された。

- ・ 漁業・資源管理関係

小島担当理事から、漁業懇話会委員会と講演会が4月28日春の大会で開かれたこと、講演内容を掲載していた漁業懇話会報を電子化することが承認されたこと、講演会では洋上風力発電の導入と漁業協調についての発表が5題あり盛況であったことが報告された。本件について以下の質疑応答があった。

東海会長「電子ファイル化の導入後も冊子を少なくとも国会図書館には収めるようにしてほしい。」

小島理事「委員会で検討したい。」

- ・ 水産利用関係

落合担当理事 特になし。

- ・ 水産増殖関係

佐野担当理事から、3月28日に「タコ類の増養殖の現状と問題点」というシンポジウムがあり82名が参加し盛会であったこと、第1回委員会を行い次の秋のシンポジウムは吉崎会員が担当して「内水面養殖について」開催すること、その次の春のシンポジウムは近畿大学の澤田会員が担当することが報告された。

- ・ 水圏環境関係

大嶋担当理事から、3月28日に環境保全委員会主催のシンポジウムがハイブリッドで行われて盛会であったこと、委員会ではその報告と予算のこと、そして次のシンポジウムについて審議したことが報告された。

- ・ 男女共同参画関係

中田担当理事から春季大会会期中に開催したランチョンセミナーが好評だったことの報告があった。

- ・ 水産学若手の会関係

潮担当理事から、3月29日に対面で委員会を開催したこと、Twitterの春季大会参加費無料の学生参加募集の閲覧件数が3,000弱でシンポジウムについての閲覧件数が2,000弱と宣伝効果が高いため今後も積極的に使用していくこと、シンポジウムについてはオンラインからハイブリッド型へ変更していくこと、発表しない学部学生の参加費無料招待について事前登録者が69名あり、そのうち46名が実際に参加したこと、この学生が今後入会するかを追跡調査したいこと、3月28日に開催した水産学若手の会主催シンポジウム、参加者が95名と盛況であったことが報告された。

- ・ 社会連携関係

澤田担当理事 特になし

- ・ 将来計画関係

山下担当理事 特になし。

- ・ 北海道支部、地域連携関係

東海会長 特になし。

- ・ 東北支部、地域連携関係

栗田担当理事から、7月16日に一般市民向けのイベント：学都仙台宮城サイエンスデー2023で講演会を行うこと、支部幹事2人欠員が出ているので調整中であることの報告があった。

- ・ 関東支部、地域連携関係
八木担当理事から、海洋大で春季大会を開催して盛況であったことが報告された。
- ・ 中部支部、地域連携関係
奥村担当理事 特になし。
- ・ 近畿支部、地域連携関係
澤田担当理事から、幹事会を年 3 回、9 月と 12 月にシンポジウムと研究集会を行う計画が報告された。
- ・ 中国・四国支部、地域連携関係
有瀧担当理事 特になし。
- ・ 九州支部、地域連携関係
吉田担当理事 特になし。
- ・ 英文書籍監修委員会（特別委員会）
山下担当理事から、4 月 25 日に委員会をオンラインで開催する事が報告された。
- ・ 財務検討委員会（特別委員会）
佐野担当理事 特になし。

② その他確認事項

(1) 令和 5 年度定時社員総会資料の確認

廣野総務担当理事及び佐野財務担当理事から、令和 5 年度定時社員総会資料の説明があり、令和 4 年度事業報告及び会計報告、令和 5 年度事業計画及び予算案を出席理事全員で確認した。

(2) 委任状及び議決権行使書の回収について

廣野総務担当理事から、令和 5 年度定時社員総会の委任状及び議決権行使書の提出状況について現状が報告され、総会成立に向けて理事に対して協力依頼があった。

(3) 次回の理事会について

廣野総務担当理事から、次回理事会は令和 5 年 5 月 10 日の総会終了後に Web 会議システムにて開催する旨確認があった。

(4) 令和 5 年度理事会開催日程

廣野総務理事より令和 5 年度理事会の開催予定について説明があり、開催日程を確認した。

(5) 理事、監事及び幹事の交代について

退任する幹事からの挨拶があった。

以上をもって Web 会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、15 時 33 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和 5 年 4 月 22 日

公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事